

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2303122	博物館資料保存論 Preserving Museum Collection	内田 雅之	専門	2	選択	4年 前期
科目の概要						
博物館活動の根幹である資料保存および展示環境並びに収蔵環境を理解するために、これらを科学的に捉え、博物館・美術館が抱える問題と対策を修得する。そしてこれらを通じて資料保存についての基礎的能力を身に付ける。						
学修内容			到達目標			
① 保存の意義を理解する。 ② 保存環境を知る。 ③ 保存の地域性を認識する。			① 資料保存の意義、保存法の基礎事項が理解できる。 ② 環境の基礎事項を理解し、その対策を実施できる。 ③ 地域の文化財における保存と活用を実施できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	基本を学び、更に様々な事例を調査することにより、豊富な判断材料を得ることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	保存と活用という相反する課題を理解し、実践することができる。				
考え抜く力	課題発見力	モノを詳しく観察することにより、現状を分析し、目的や課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	得た知識を基礎として、新しい方法をイメージすることができる。				
チームで働く力	発信力	保存の基礎を理解することにより、自分の考えを的確に伝えることができる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を聞き、相手の考えを理解することができる。				
	柔軟性	様々な事例を学ぶことで、一つの考えに捉われることなく柔軟な発想をすることができる。				
	状況把握力					
	規律性	自分の立場を理解した上で、社会におけるルールを学ぶことができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:用いない。 参考文献:授業内で随時紹介する。						
他科目との関連、資格との関連						
資格との関連:博物館学芸員資格取得に必要な科目と関連している。						
学修上の助言			受講生とのルール			
保存と活用という相反する課題の中で、いかに「モノ」を護るか、また今に伝わる文化財が、長い歴史の中で多くの人の手により保存され、愛でられてきたかを感じて下さい。			質問された際、未回答や「わかりません」と答えるのではなく、何でもいいので答えられる度胸を持ちましょう。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	20	①	✓	前回の講義の理解度確認のための小テストを行うことがありますので、しっかりと復習し、解らないことがあればその時点で質問をして下さい。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
レポート	40	①	✓	これまでに行われた保存修理・保存環境の仕組みを調べて報告を行う。
		②	✓	
		③	✓	
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	講義で学んだ知識を活かし、与えられた文化財情報に対して、自分だったらどのような保存・修理を施すかを発表し、その内容を評価する。
		②	✓	
		③	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性)
		②		・積極的な発言・行動ができるかどうかを評価する。
		③		(実行力)
		④		・新聞、図書館にあるかも知れない修理報告書、またインターネットなどを散見し、文化財の修復、保存方法について学ぶ。
		⑤		(課題発見力) ・目の当たりにした文化財の状況を把握することができる。 (創造力) ・実見した文化財が劣化していた場合、自分ならどのように修復・保存するかを想定することができるようになる。 (発信力) ・文化財の保存方法の在り方をわかりやすく説明することができる。 (傾聴力) ・教員の講義、また、他学生の発言を聞き、発言を理解し、自分自身の意見との異同を考える。 (規律性) ・無断欠席や遅刻をすることなく、学生生活を満喫する。
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
保存修理・環境を理解し、修理方法・環境改善の方法を適切に回答出来るようになる事。	文化財の材質を把握し、いかに文化財を護るかを認識できる事。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	資料保存の目的と意義	講義	資料保存の目的と意義について考察する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	主体性 実行力
2週 /	材質・構造と劣化要因	講義	資料の材質とその構造について基礎的な知識を得る。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	主体性 傾聴力
3週 /	実態調査と現状把握	演習	資料の状態調査方法を理解する。	文化財の取り扱い方、名所をきちんと復讐しておく事。	適宜	主体性 傾聴力
4週 /	資料の保存修理(1) 考古	講義	考古遺物の修理方法の基本的な知識を得る。	修理報告書等を図書館などで探して一読、極力理解する事。	適宜	主体性 実行力
5週 /	資料の保存修理(2) 書跡・絵画	講義	書跡・絵画等の修理方法の基本的な知識を得る。	修理報告書等を図書館などで探して一読、極力理解する事。	適宜	主体性 実行力
6週 /	資料の保存修理(3) 美術工芸	講義	漆工品・金工品等の修理方法の基本的な知識を得る。	修理報告書等を図書館などで探して一読、極力理解する事。	適宜	主体性 実行力
7週 /	生物被害と IPM について	講義	生物被害と IPM (総合的有害生物管理) の基礎的な知識を理解する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	課題発 見力 計画力
8週 /	屋外文化財の保存環境	講義	屋外文化財の現状について理解する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	課題発 見力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	災害の防止と対策	講義	防犯・防災システム、災害発生時の対策の事例を学ぶ。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	課題発見力 計画力
10週 /	伝統的保存方法	講義	博物館概念の導入以前の伝統的な保存方法を学ぶ。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	課題発見力 計画力
11週 /	博物館の見学	見学	博物館の見学を通じて、各館の展示技法を学ぶ。	見学先の概要をまとめておく事。	適宜	主体性 課題発見力
12週 /	収蔵・展示などの保存環境	講義	空調や温湿度の管理システムを理解する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	課題発見力 計画力 実行力
13週 /	資料の梱包と輸送	演習	文化財の形状・材質を把握し、最善の梱包方法を体得する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	課題発見力 計画力 実行力
14週 /	資料梱包演習	演習	文化財の形状・材質を把握し、最善の梱包方法を体得する。	文化財の取り扱い方、名所をきちんと復讐しておく事。	適宜	課題発見力 計画力 実行力
15週 /	環境保護と博物館の役割	講義	地域資源の役割と活用について理解する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	課題発見力 計画性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力